

安定と繁栄に向けた日アラブ首長国連邦間の
包括的パートナーシップの強化に関するファクトシート
(和文仮訳)

日本は、政治・経済分野、文化・人的交流での二国間関係の具体的な進展を歓迎し、以下のような様々なレベルでの協力を進めることを通じ、中東の安定と繁栄に向けた包括的なパートナーシップを更に強化する意思を表明した。

1. 政治分野での協力

(政治対話)

- 地域情勢、海上交通路の安全を含む海上安全保障、海賊対処、不拡散、テロ対策、人道支援・災害救援等を議論するため、関係する機関間で安全保障対話を実施する。
- 日本とUAEを含むアラブ・ドナーとの間で、特に、中東、アフリカ、アジア諸国への支援のための援助協調を促進する。
- 戦略対話に関する覚書及び行動計画に基づき、日本と湾岸協力理事会（GCC）との間の対話と協力を拡大し、閣僚級の日GCC戦略対話及び高級事務レベル会合を可能な限り早期に実施する。

(防衛交流)

- 海上自衛隊とUAE海軍との間の部隊間交流を促進する（寄港時の親善訓練を含む）
- 国際的なワークショップ、会議、セミナーを含む国際場裡での協力を促進する。
- 海賊対処活動に関する協力の可能性を探求する。

2. 経済、農業、医療サービス分野での協力

(経済対話)

- 日UAE合同委員会、日アブダビ経済協議会、日アラブ経済フォーラムの継続的な実施、今回の日本の経済ミッションの派遣を含む、経済ミッションの相互派遣の重要性を強調し、両国政府及び民間セクター間の緊密な連携を歓迎する。

(エネルギー協力)

- 国際石油市場の安定と両国の共同備蓄の重要性を強調し、日本への継続的か

- つ安定的な石油・LNG供給に対するUAEのコミットメントを歓迎する。
- 日本企業がUAEの石油上流開発で果たしてきた重要な役割を認識し、日本企業がこの分野での役割を継続し強化することを希望する。
 - 経済産業省とアブダビ最高石油評議会との間の共通認識に基づき2009年に鹿児島で開始した、日本の緊急時に石油を供給し、アブダビ国営石油会社(ADNOC)のアジアへの供給拠点ともなる共同備蓄事業の重要性を認識し、本プロジェクトが2012年に二年間の延長に合意したことを歓迎する。
 - 日本とUAEとの間の長期にわたる石油開発協力のパートナーシップの重要性を強調し、アブダビ石油会社が追加的な鉱区を獲得するとともに利権契約を成功裡に延長したことを歓迎する。
 - 日本の民間セクターと協力した石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)とADNOCの間の技術協力、JOGMECと国際石油交流センター(JCCP)によるADNOC職員500名への研修プログラム、国際協力銀行(JBIC)とADNOCの間の資金協力、JCCPによるアブダビ精油会社(TAKREER)の研究所設立支援等を通じた、石油開発における相互補完的な関係を歓迎する。
 - 石油上流開発における協力は両国のパートナーシップの礎であり、このような相互補完的な関係は、石油権益の更新及び追加によって更に強化されることを強調する。
 - ワールド・フューチャー・エナジー・サミットへの日本の継続的な参加や、省エネルギー及び再生可能エネルギーに関する二国間協力を促進するための日本の民間セクターとマスダール科学技術大学院大学(MIST)との共同研究プロジェクトを高く評価するとともに、MIST学生のために日本企業が提供したインターン・プログラムがこのような協力の強化に貢献してきたこと、また、同インターンシップが拡張されることを歓迎する。
 - 国際再生可能エネルギー機関(IRENA)への日本の貢献を高く評価し、本機構の発展のために更に協力することをコミットする。
 - 今次訪問の機会に原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とアラブ首長国連邦政府との間の協定に署名したことを歓迎し、本協定が日本とUAEとの間の原子力協力を更に拡大させるものであることを満足の意とともに留意する。

(ビジネス、投資、インフラ開発)

- 経済的な関係の深化や、日UAE間の相互投資促進の重要性を強調する。
- 中東協力センター(JCCME)により新設されたアブダビ産業協力プロジ

ェクト， 2013年11月に東京で開催予定の投資フォーラム，日アブダビ経済協議会とその三つの作業部会の活用により，企業投資を拡大する。

- 日本の先端技術及びインフラ開発，特に，水関連施設と交通の開発に留意しつつ，両国の政府及び民間セクター間のインフラ開発分野での更なる協力を歓迎する。
- 第一回国際水サミットへの日本の参加及び淡水化に関する実施可能性調査のための覚書の署名を歓迎する。
- UAEにおける水資源の確保の重要性を再認識し，日本とアブダビ水電力庁（ADWEA）との共同出資による独立造水発電プロジェクトが順調に進展していることを歓迎し，日本企業とADWEA，新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）とラス・アル・ハイマ首長国との共同研究を通じて水関連プロジェクトが更に強化されることを期待する。
- 国際協力機構（JICA）による人材育成に関する新たなコスト・シェア技術協力の適用を歓迎し，研修プログラムや日本人専門家の派遣の促進を期待する。
- 今次訪問の機会に所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本とUAEとの間の協定に署名したこと並びに新たな投資協定の予備的協議を開始することを歓迎する。
- UAEにおける女性の役割を向上させ，また，伝統的な手工業を保全する中小企業ビジネスに対する日本の継続的な支援の重要性を強調し，日本によるハリーファ企業開発基金のソーハ・プロジェクトへの貢献を歓迎する。
- 日本と湾岸協力理事会（GCC）との間の自由貿易協定交渉を可能な限り早期に再開するために協力する意思を表明する。
- エミレーツ航空が東京国際空港とドバイ国際空港との間の定期フライトを開始することを決定したこと及びエティハド航空が成田国際空港とアブダビ国際空港との間の毎日のフライトを開始したことを歓迎する。

（医療協力）

- 両国間の医療協力の重要性を強調し，ヘルスケアに関するセミナーの開催や「メディカル・コンGRESS」への参加，日本式クリニック開設に向けた作業部会及びUAEでは現在受けることのできない予防医療や治療等をUAE国民に提供するための実施可能性調査に向けた作業部会の設立，新たな技術の習得のためのUAE医学生の日本への受け入れ，医療技術の更なる向上のためのUAEへの医療専門家派遣等，メディカル・エクセレンス・ジャパン（MEJ）を通じた日本による貢献を歓迎する。
- 日本式クリニックの開設，医療研修プログラム，人材交流，患者移送を通じ

た医療分野における二国間協力を更に強化するためのMEJによる6つの覚書の署名を歓迎する。

- アブダビにおける重粒子線システムの導入に関する覚書の署名を歓迎する。

(農業協力)

- 日本がUAE国民の健康的で豊かな食生活に貢献するため、食文化への相互理解と日本とUAEの食品産業間の情報交換を促進する。
- 再生可能エネルギーや植物工場を含め、より生産的で持続可能な農業・漁業生産に資するため、日本の先端技術に関する技術協力や情報共有を促進する。

(文化・人的交流)

- UAEにおける学校教育の向上の重要性を強調し、UAE政府の資金により今後5年間で500名の学生を受け入れるという日本の新たな教育協力政策を歓迎する。
- 日本国際協力センター(JICE)とアブダビ教育評議会(ADEC)との間の覚書への署名を歓迎し、日アブダビ教育・交流センターにより促進される両国の大学による相互訪問、日本の大学による教育フェアへの出展や、日本における教育の機会に関する情報提供を通じ、教育交流を更に強化する。
- 両国の高等教育機関間の交流と協力の重要性を再確認し、今次訪問の機会の教育交流及び技術的パートナーシップに関する3つの覚書への署名を歓迎する。
- 質の高い初等教育がUAEの教育政策全体の重要な要素であることを想起しつつ、アブダビ日本人学校における日本式教育を高く評価し、アブダビ日本人学校で学ぶUAE人学生数が倍増したことを歓迎する。
- 国際交流基金とカリマ・プロジェクトとの間の文化及び翻訳分野での協力に関する覚書の署名を歓迎する。